



決算補足説明会

2025年3月期 第2四半期(中間期)

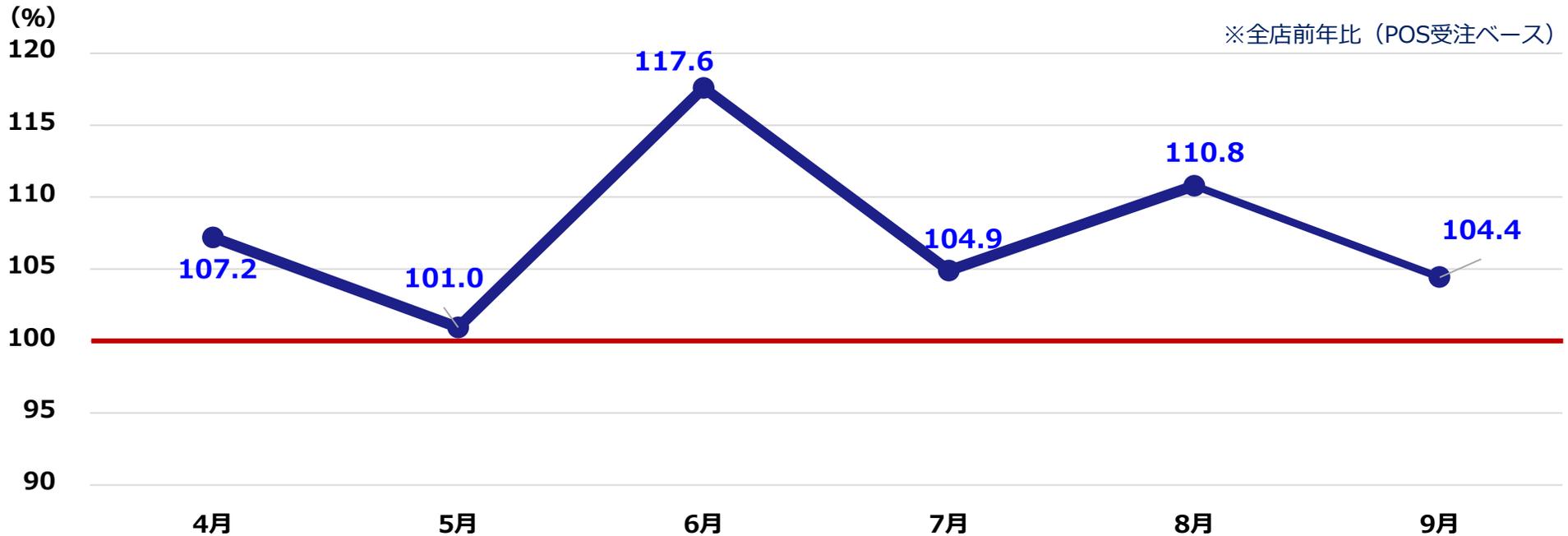
株式会社エディオン
2024年11月1日

- 1. 実績報告**
- 2. 業績予想 および 出店計画**
- 3. トピックス**

1. 実績報告

2025年3月期 第2四半期(中間期)

上期（中間期）の振り返り



上期(中間期)累計 107.6% (既存店 104.4%)

2024年度上期は、商品価格の上昇が一巡し受注売上高前年比は好調に推移しました。
既存店前年比も堅調で、大型商品だけではなく家電商品全体の底堅さが見られました。

第1四半期 前年比 108.9% (既存店 105.3%)

- ・4月より全国的に気温上昇が早く、エアコン・季節商品は例年より早く好調な動きとなりました。
- ・6月にかけリビングの大型インチテレビの買い換え需要が高まりました。

第2四半期 前年比 106.5% (既存店 103.7%)

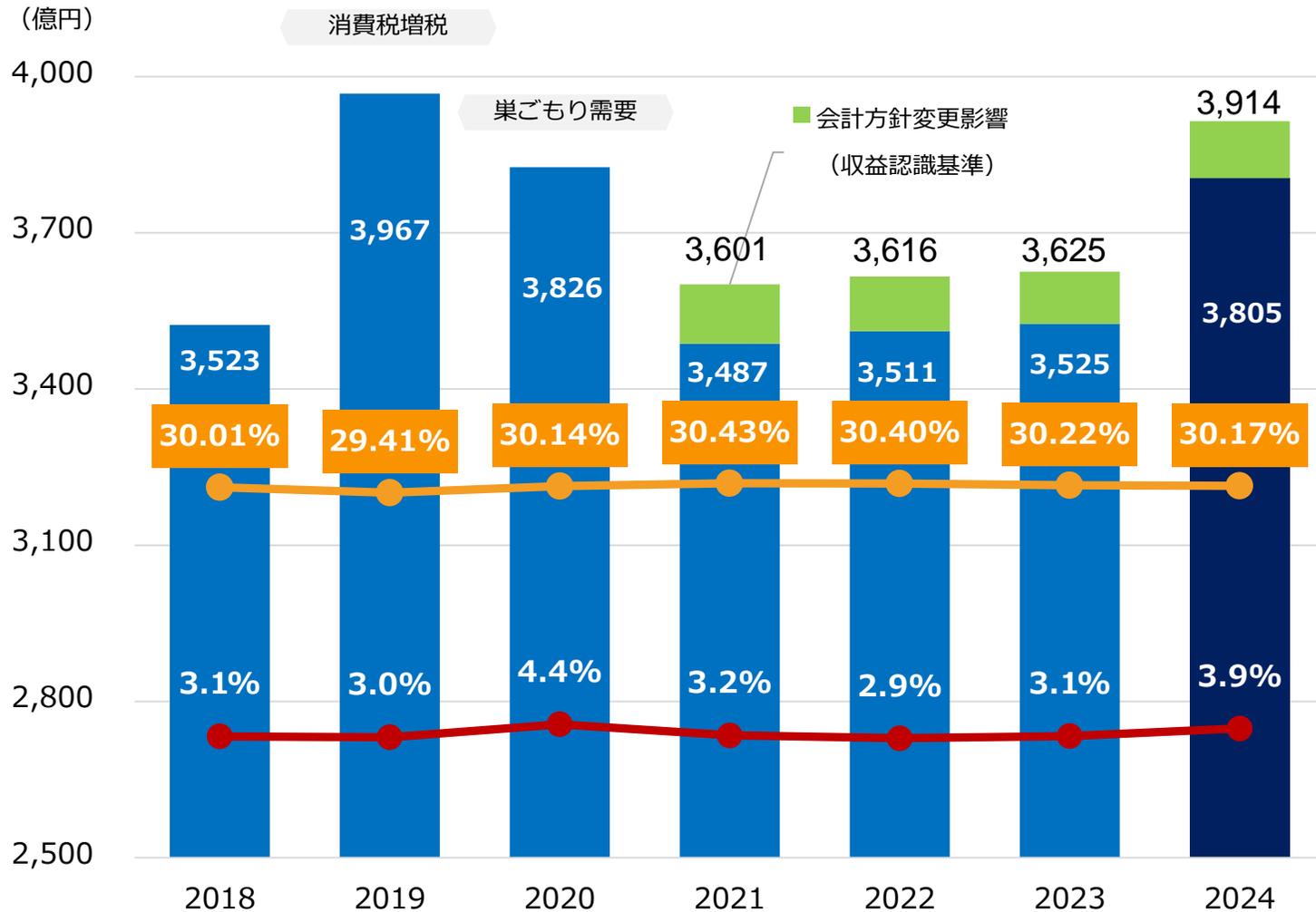
- ・エアコン、ELSが売上を牽引しました。
- ・節電、AI搭載などの大型エアコンが好調。
- ・オール電化商品、バス・トイレなどのリフォーム商品も好調に推移しました。

連結損益計算書



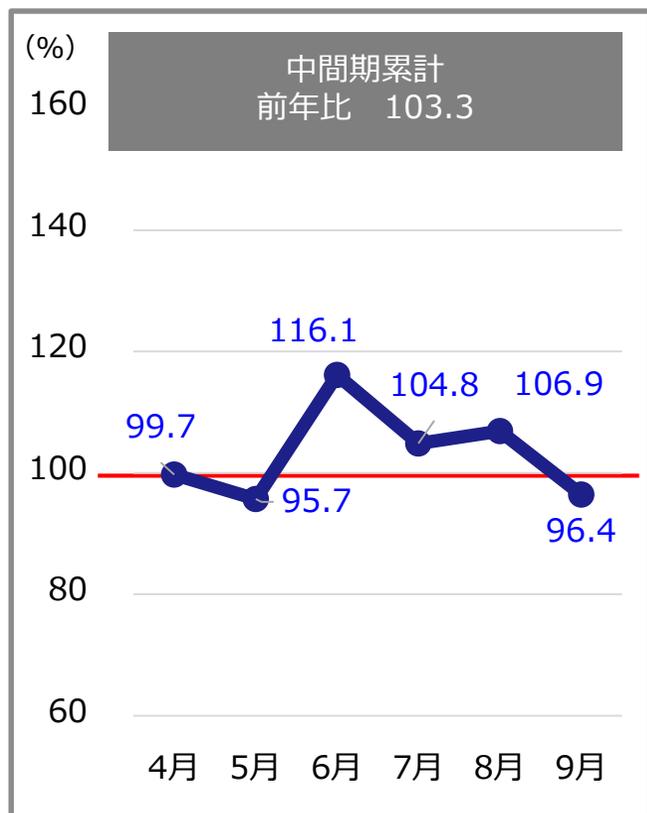
百万円・%	2024年3月期 中間期累計			2025年3月期 中間期累計			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高		352,577	100.4		380,500	107.9	27,922
売上総利益	30.22	106,544	99.8	30.17	114,779	107.7	8,234
販売管理費	27.2	95,765	99.3	26.4	100,281	104.7	4,516
広告宣伝費・販売費	6.6	23,402	98.3	6.5	24,773	105.9	1,371
人件費	11.2	39,497	99.6	10.7	40,700	103.0	1,203
設備費・その他管理費	7.9	27,761	100.6	7.7	29,194	105.2	1,432
減価償却費	1.4	5,103	94.9	1.5	5,612	110.0	508
営業利益	3.1	10,779	104.3	3.8	14,498	134.5	3,718
営業外収益	0.2	852	120.2	0.2	822	96.4	▲30
営業外費用	0.2	580	66.4	0.1	293	50.6	▲286
経常利益	3.1	11,052	108.7	3.9	15,027	136.0	3,974
特別利益	0.0	141	26.4	0.0	74	53.0	▲66
特別損失	0.1	395	168.3	0.1	259	65.5	▲136
税金等調整前当期純利益	3.1	10,798	103.1	3.9	14,842	137.5	4,044
法人税等合計	1.0	3,581	105.4	1.3	4,760	132.9	1,178
非支配株主に帰属する中間期純利益	-	-	-	0.0	50	0.0	50
親会社株主に帰属する 中間期純利益	2.0	7,216	102.1	2.6	10,031	139.0	2,815

業績推移サマリ(中間期)

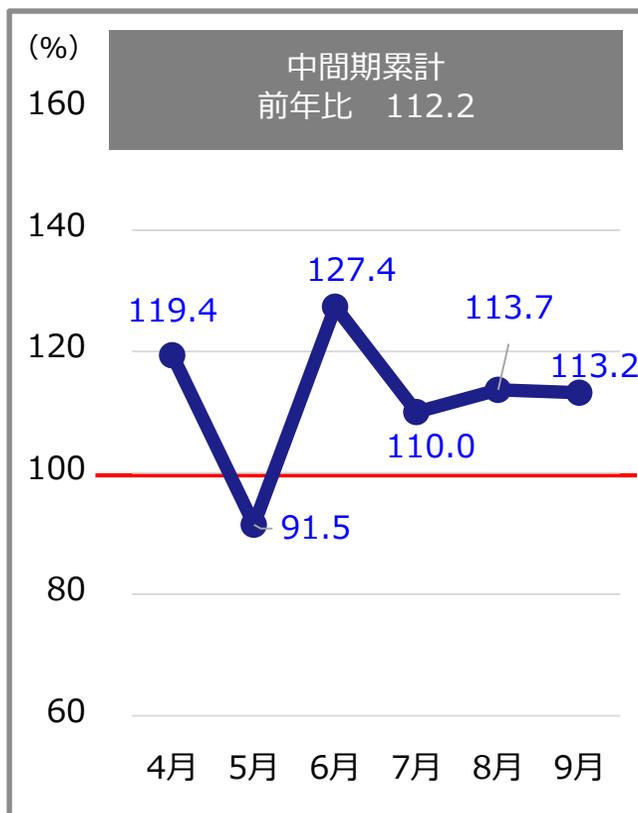


売上高
3,805億円 (会計方針影響適用前 : 3,914億円)
売上総利益率
30.17%
経常利益率
3.9%

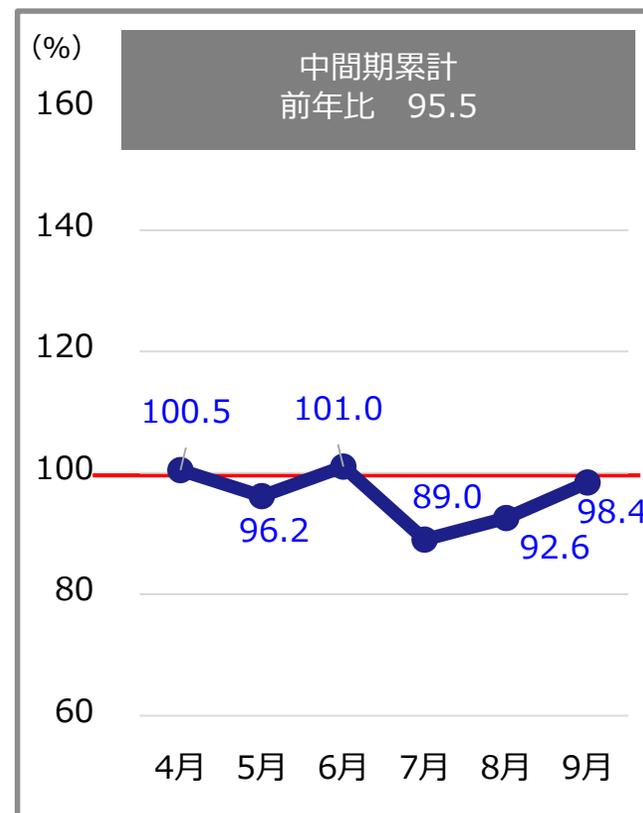
テレビ



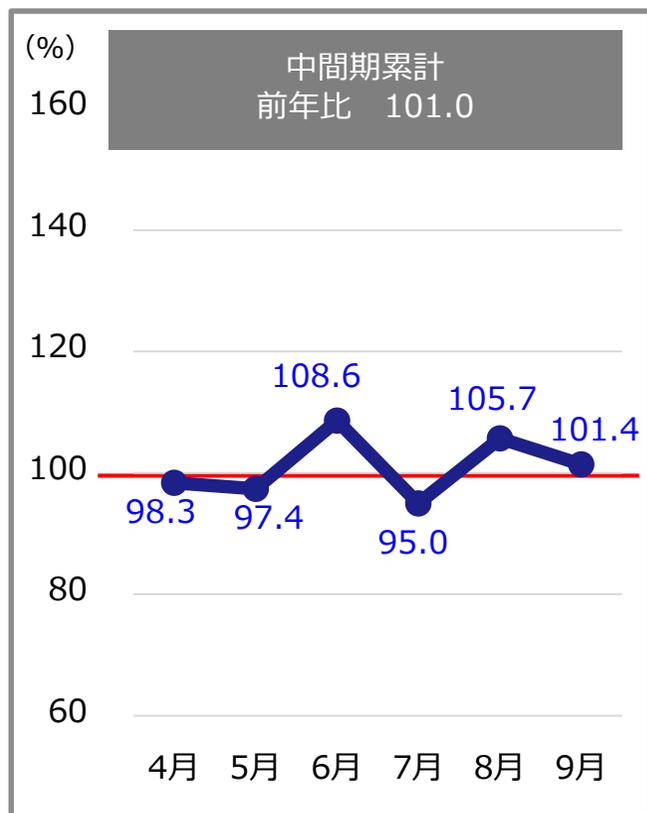
エアコン



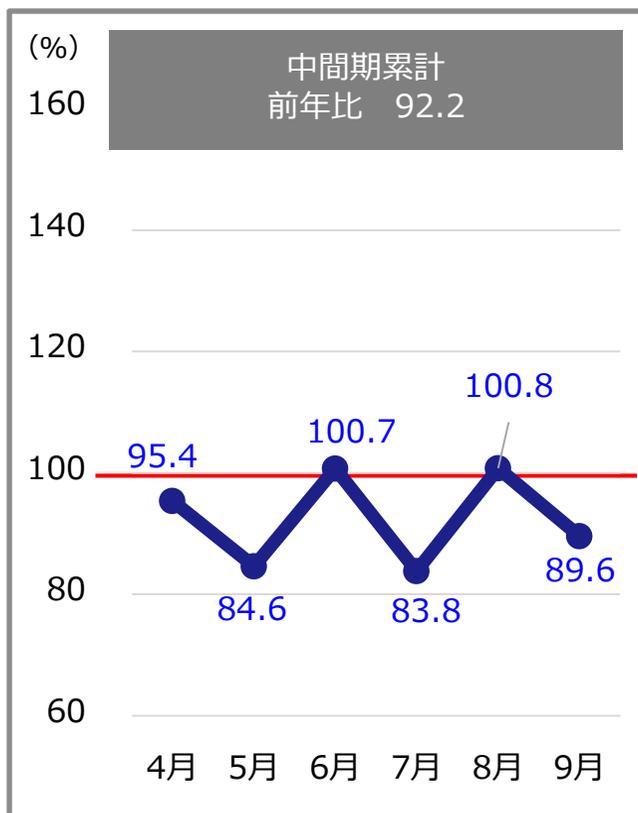
冷蔵庫



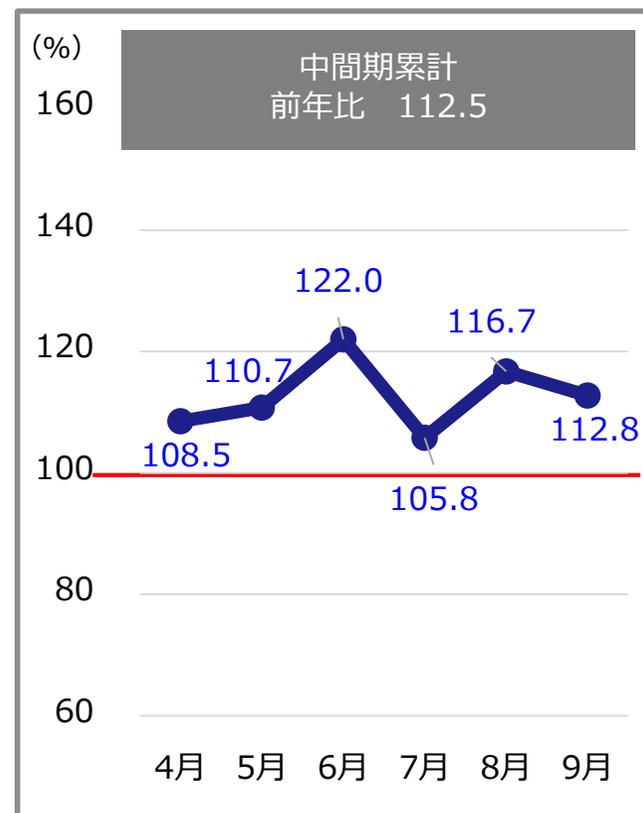
洗濯機



パソコン

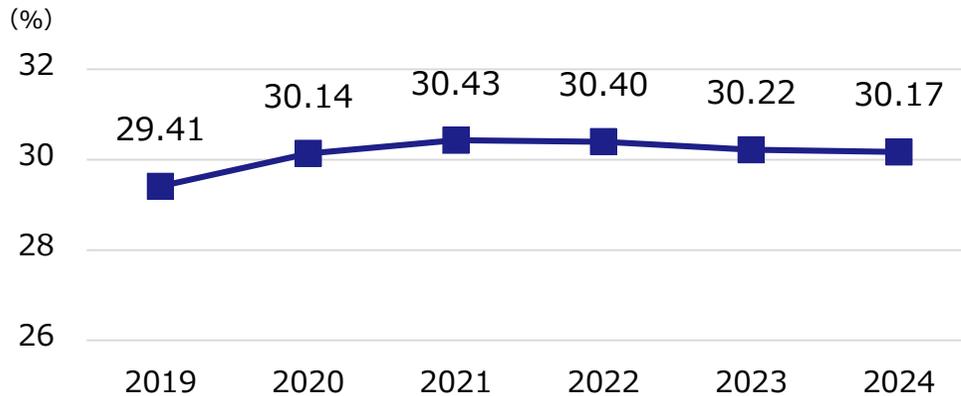


ELS



売上総利益率・販管費率の状況(中間期)

■ 売上総利益率



当期 : 30.17% 前期 : 30.22% 前期差 : Δ 0.05%

(主な要因)

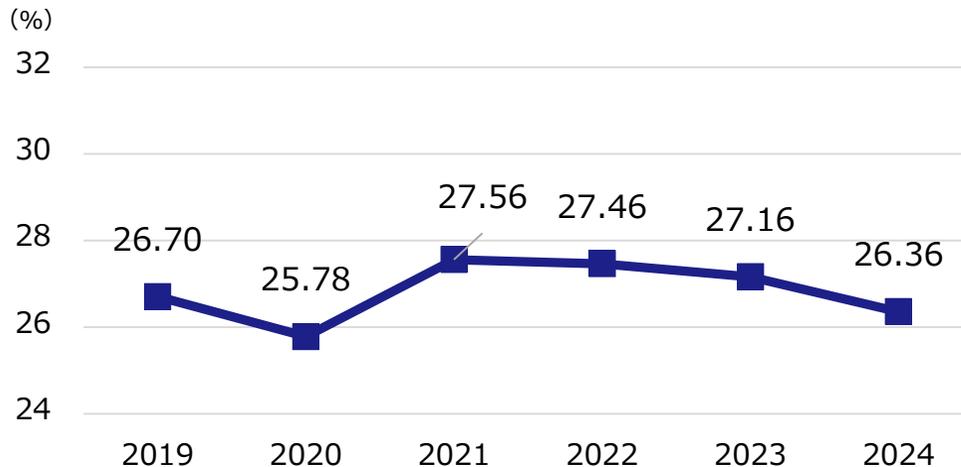
第1四半期 当期 29.96% 前期 30.13% Δ 0.17%

季節商品が好調に推移するも、eコマース・玩具関連商品等の売上増加によりミックスで粗利率に影響

第2四半期 当期 30.34% 前期 30.29% +0.05%

引き続き玩具関連商品等の構成は高かったものの季節商品が好調に推移し、前期を上回った。

■ 販管費率



販売費及び一般管理費

当期 1,002億円 前期 957億円 前期差 +45億円

販管費率

当期 26.36% 前期 27.16% 前期差 Δ 0.81%

(主な増加要因)

- 広告宣伝費・販売費 +13.7億円 (主に変動費分が増加)
- 人件費 +12.0億円 (ベースアップ、賞与引当金の増加)
- 設備費・管理費 +14.3億円 (オープン+1.4億円、賃借料+3.6億円、租税公課 +1.7億円)
- 減価償却費 + 5.0億円

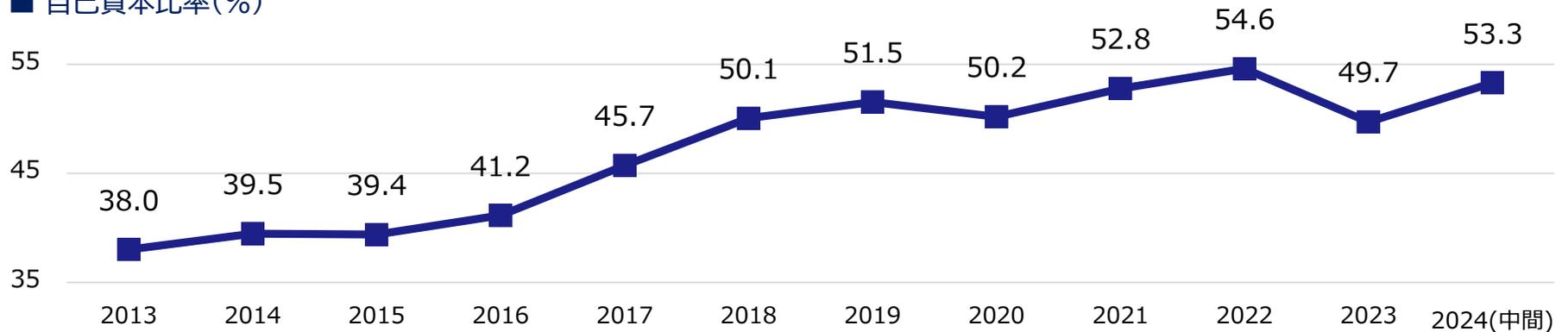
連結貸借対照表

(百万円)

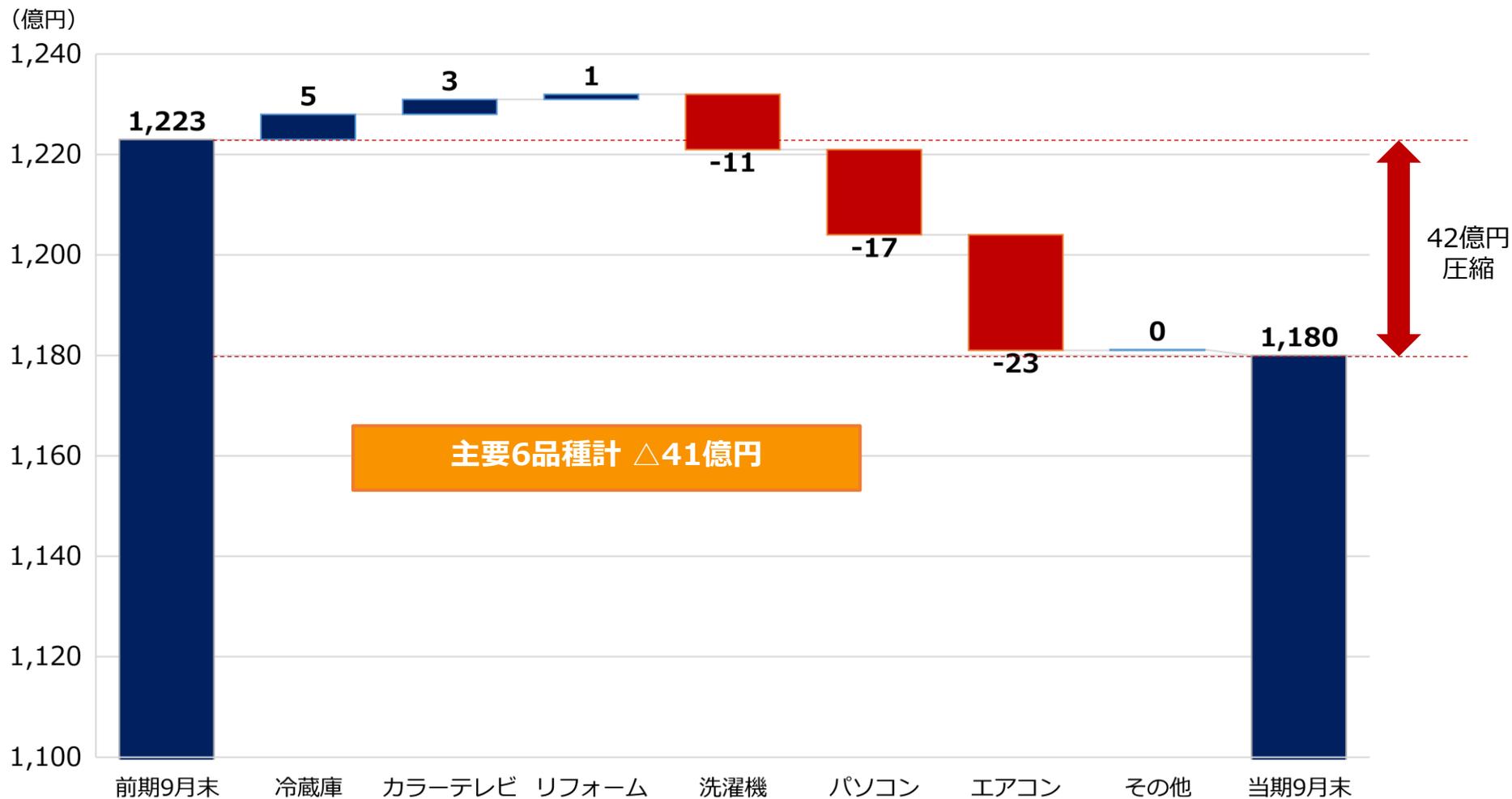
資産	2024年 3月末	2024年 9月末	増減
現金及び預金	12,011	9,349	△2,661
商品及び製品	117,902	118,051	148
その他	59,852	47,734	△12,117
流動資産	189,766	175,135	△14,630
有形固定資産	177,824	178,021	197
無形固定資産	10,948	10,662	△285
投資その他の資産	53,156	54,220	1,064
固定資産	241,928	242,905	976
資産合計	431,694	418,041	△13,653

負債・純資産	2024年 3月末	2024年 9月末	増減
短期借入金	38,591	20,493	△18,097
1年以内返済長期借入金	10,113	3,139	△6,974
1年以内償還予定社債	-	4,290	4,290
流動負債	149,458	127,665	△21,793
長期借入金	31,243	37,847	6,604
固定負債	67,314	66,987	△326
負債合計	216,773	194,652	△22,120
純資産	214,921	223,388	8,466
資産・純資産合計	431,694	418,041	△13,653

■ 自己資本比率(%)



主要商品別在庫状況 (前年同期比)



※ 1 億円未満を切り捨て表示しています

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2023年 中間期	2024年 中間期	増減
税引前当期純利益	10,798	14,842	4,044
棚卸資産の増減額	△6,193	△274	5,918
仕入債務の増減額	△5,070	△1,750	3,320
その他	17,430	18,265	835
小計	16,964	31,083	14,118
法人税等	△3,964	△2,636	1,327
その他	△332	△145	186
営業活動CF	12,668	28,301	15,632
有形固定資産取得	△4,319	△5,172	△852
その他	△811	△2,115	△1,304
投資活動CF	△5,131	△7,287	△2,156
借入金（長短）増減	△1,008	△18,943	△17,934
自己株式の取得	△0	△1,578	△1,577
その他	△2,438	△3,153	△715
財務活動CF	△3,447	△23,675	△20,228
現金及び現金同等物の 中間期末残高	17,325	9,349	△7,975

■ 営業キャッシュフローの主な増減要因

- ・ 季節商品を中心に営業活動が好調に推移するとともに、棚卸資産の圧縮や法人税等の支払減少により、156億円の増加となりました

■ 投資キャッシュフローの増減要因

- ・ 有形固定資産の取得やCVCへ出資により21億円の減少となりました。
前期：新店4店舗、移転5店舗
当期：新店5店舗、移転1店舗
笹丘店（福岡）、ガーデンズ千早東店（福岡）
奈良三条大路店（奈良）、王子駅前店（奈良）
八代店（熊本）

■ 財務キャッシュフローの増減要因

- ・ 借入金の減少や自己株式の取得等により202億円の減少となりました。

2. 業績予想 および 出店計画

連結業績予想



百万円・%	上期		下期		通期（2025年3月期）			
	実績	前年比	予想	前年比	売上比	予想	前年比	前年増減
売上高	380,500	107.9	381,000	103.4		761,500	105.6	40,414
売上総利益	114,779	107.7	108,100	104.9	29.27	222,880	106.3	13,293
販売管理費	100,281	104.7	100,398	103.6	26.4	200,680	104.2	8,023
広告宣伝費・販売費	24,773	105.9	24,151	102.6	6.4	48,924	104.2	1,978
人件費	40,700	103.0	41,225	104.4	10.8	81,926	103.7	2,945
設備費・その他管理費	29,194	105.2	28,995	102.9	7.6	58,189	104.0	2,244
減価償却費	5,612	110.0	6,026	106.1	1.5	11,639	107.9	854
営業利益	14,498	134.5	7,701	125.2	2.9	22,200	131.1	5,270
経常利益	15,027	136.0	8,072	128.4	3.0	23,100	133.2	5,760
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,031	139.0	3,468	192.1	1.8	13,500	149.6	4,478

- 売上高 既存店前年比：上期実績 104.4% / 下期予想 101.5% / 通期予想 102.9%
- 粗利率 前期同水準想定 29.27%（前期実績 29.07%）
- 販売費および一般管理費（主な増加要因）
 - ・ 広告宣伝費・販売費 新店分および売上変動分の増加
 - ・ 人件費 給与ベースアップ
 - ・ 設備費・管理費 水道光熱費の増加、新店家賃等の増加



2024年9月20日 エディオン八代店(熊本県) オープン

エディオングループ計

1,204 店舗

直営店 456店舗 ■ フランチャイズ店 748店舗

※2024年9月末時点

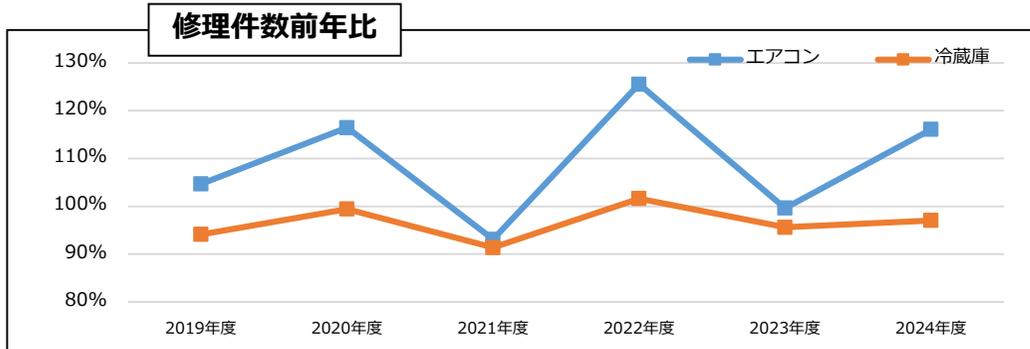
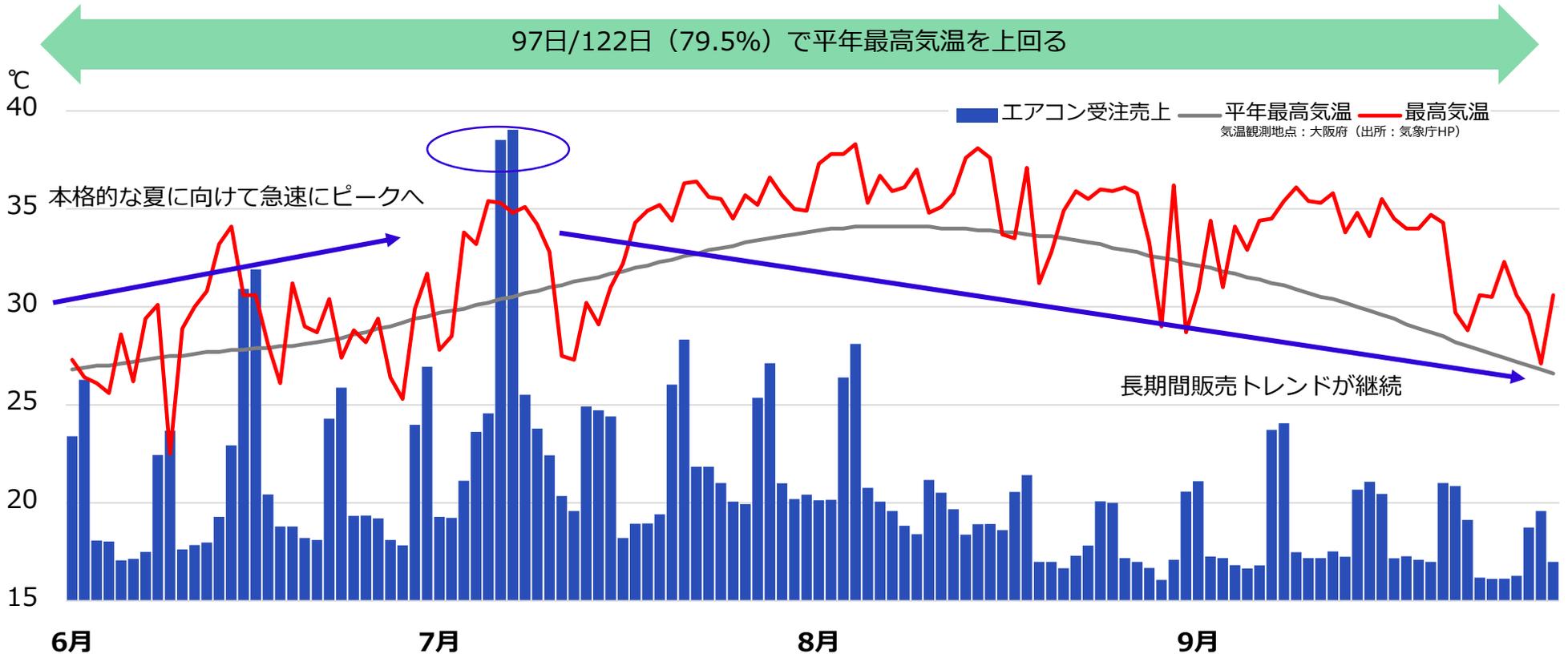
既存店外壁塗替にも注力
<上期13店舗実施済 / 下期21店舗実施予定>

出退店実績・計画

		新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数	
2024年3月期実績		9店舗	6店舗	5店舗	+4店舗	454店舗	
2025年3月期	計画	7店舗	1店舗	-	-	-	
	実績	第1四半期	4店舗	-	1店舗	+3店舗	457店舗
		第2四半期	1店舗	1店舗	2店舗	-1店舗	456店舗
		上期	5店舗	1店舗	3店舗	+2店舗	456店舗

3. トピックス

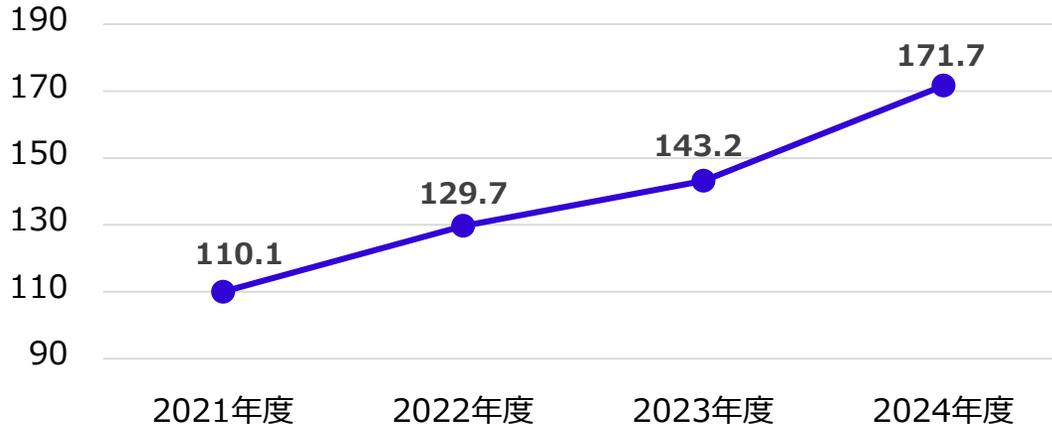
気温とエアコンの関係について



- ・ 昨年に続き異例の猛暑となりエアコンを中心に季節商品が好調に推移した
- ・ 残暑厳しく9月に入っても継続的に販売
- ・ 物流面においては大きな混乱はなかった
- ・ 修理件数はエアコンが増加、冷蔵庫は低下した

サービスメニューの強化

クリーニングサービス 2020年度との比較推移（4月～9月）



全国の研修センターで技術の講習・実技研修を実施！



EDION
家電のプロ×コーティングのプロ
Keeper
＼キレイが持続! 汚れを弾く! /
キーパーコーティング
水まわり、毎日のお手入れがカンタンに! **新登場!**

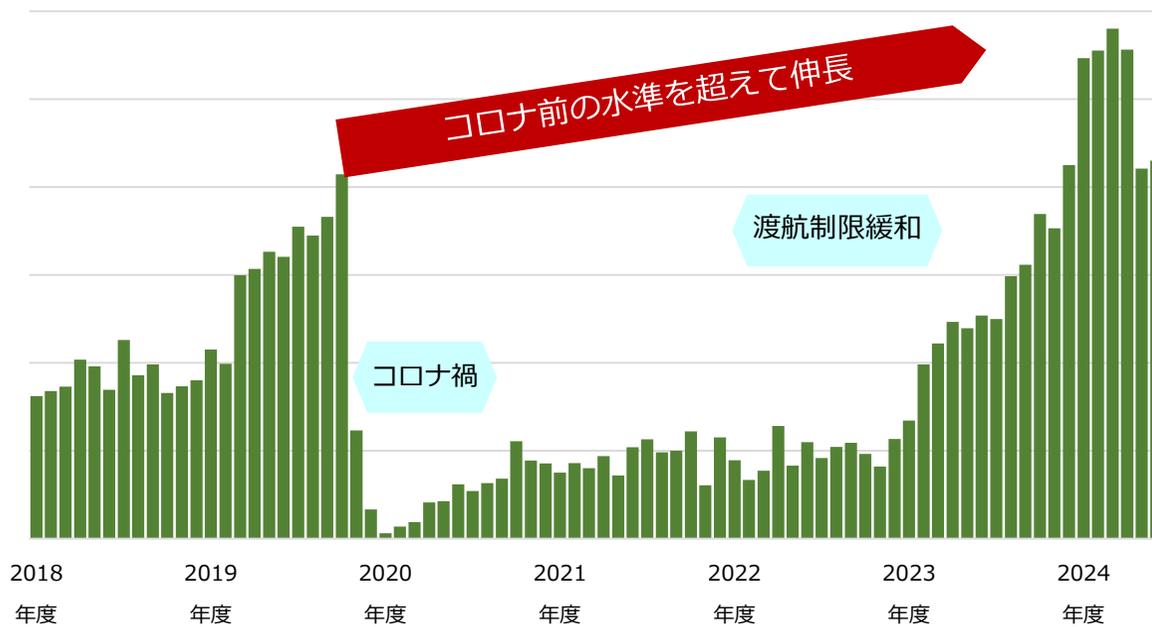
キッチン
キーパー
まるで
新品のような光沢!!

お風呂
キーパー
カンタンなお掃除で
キレイな浴槽に!!

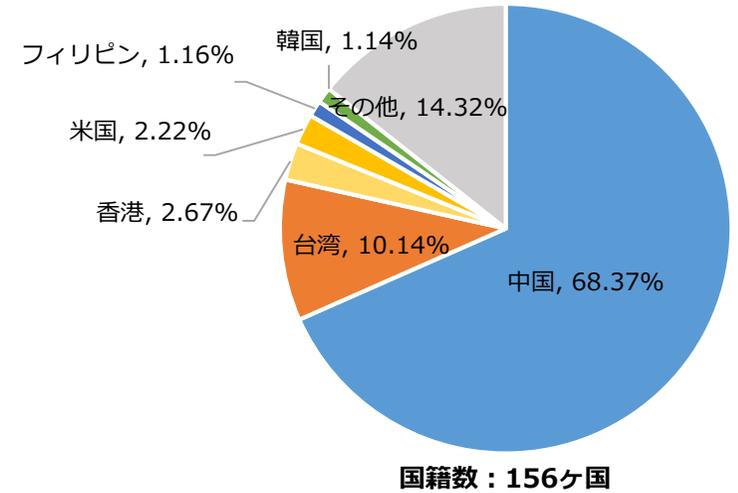
洗面台
キーパー
汚れもつきにくく
毎日気持ちよく使える!!

インバウンドの状況

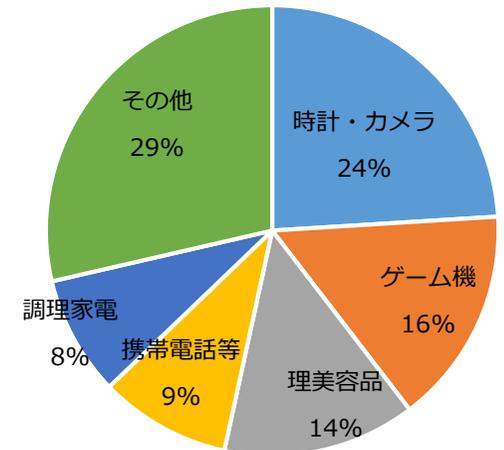
当社のインバウンド売上の状況グラフ



国別シェア(4-9月)



商品別の売上構成(4-9月)



color design series

カラーデザインシリーズ



わたし

の毎日に、カラフルなときめきを。



color design series



■ 詳細はコーポレートサイトを参照ください
<https://www.edion.co.jp/ir/library/integration>



1 循環社会への取り組み

循環型社会の実現に向け家電リサイクル法の対象である家電製品の適正な処理を行い、小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化などを積極的に取り組んでいます。認定事業者である子会社(株)イー・アール・ジャパンと連携しグループ一体となった回収体制を構築しています。また、多様な人材が活躍できる場を提供するなど様々な側面から社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。



2 健康経営の推進

エディオンは従業員の健康を重視し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」において、取り組みが優良であると認定されました。



3 地域社会への支援

一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」に賛同し、2021年9月よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。本協賛を通じて今後も地域社会との協調を図り、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



4 サステナビリティ推進委員会の設置

当社では「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」でありたいという考えのもと、エディオングループの経営理念に基づいて持続的な成長とすべてのステークホルダーの発展に資するため、サステナビリティに関する取り組みを推進しています。

気候変動に伴うリスクや機会は事業戦略や財務計画に大きな影響を及ぼすものと認識し、サステナビリティ経営をグループ全社で横断的に推進するため、2022年6月にサステナビリティ推進委員会を発足しました。

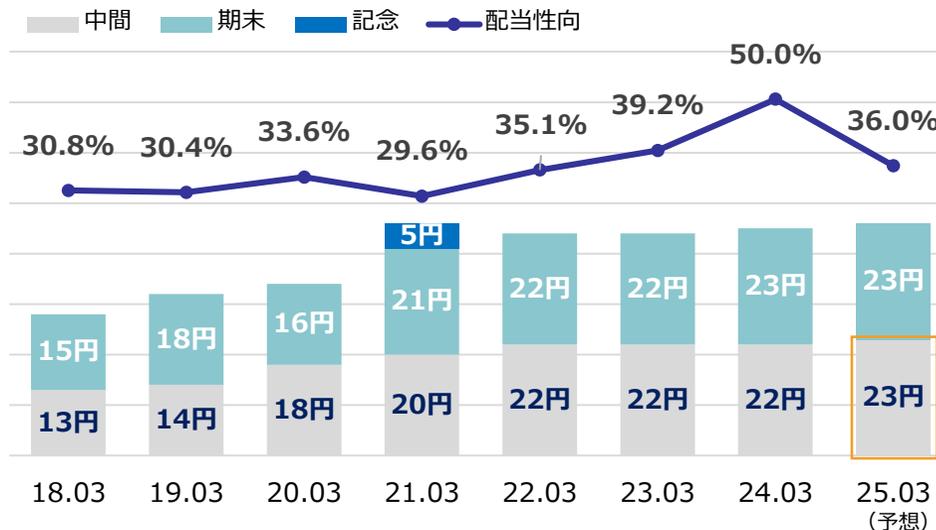
ROIC向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



■ 株価推移



注意事項

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- 本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われないうようお願いいたします。

2024年11月1日